

野口謙蔵素描展

Part II

令和7年

9月13日

土



10月12日

日

【休館日】

9月17日(水)・
10月24日(水)

月曜・火曜



百二十(号)、水村雪後の風景、思ひきつて絵具をつけてみる。
ひとのためでもない、世間のためでもない、だまって自分の心を夢をかけばよいのだ。
何もおそれることはない。燃え上る心をすなおにかけばよい。

『喜雨来①野口謙蔵日記』より 昭和十三年一月二十三日

東近江市立 蒲生図書館 開架室

〒529-1531 滋賀県東近江市市子川原町 676 (蒲生支所内)

開館時間：10時～18時

TEL：0748-55-5701 IP：050-5802-8342

野口謙蔵は、明治34年(1901年)に蒲生郡桜川村の綺田に生まれました。東京美術学校(現在の東京芸術大学)を卒業後帰郷し、生涯離れることなく蒲生の地を画業の場として、美しい田園風景やそこに生きる人々を一途に描き続けました。洋画家として高い評価を得ますが、病のため43歳という若さでその生涯を閉じます。

蒲生図書館では昨年に引き続き、野口謙蔵の作品の中でもあまり目に触れる機会のないスケッチや本の挿絵などを展示します。

